



# 寄未知タイムス

理念・校訓 「学・思・貫」

発行 令和5年7月20日  
那覇市立寄宮中学校  
生徒数 526名  
学校だより4号

## 「あ～夏休み！」

校長 望月雄紀

あっという間に夏休みになりました。1学期前半は、生徒会主催の新入生歓迎球技大会を皮切りに、4年ぶりのハーリーに参加するなど、コロナ禍でなかなかスムーズにすすめられなかったことに取り組むことができました。有意義な夏休みを過ごして、この後の学校生活が充実するように、つなげてほしいと思います。1学期前半終了集会では、生徒に以下の話をしました。

全校生徒の皆さんこんにちは。令和5年度1学期前半終了の日となりました。

本校の教育目標「自ら学ぶ力・思いやりの心・ねばりぬく力」、校訓「学・思・貫」のもとに、皆さんは授業や諸行事に精一杯取り組んできました。

学習面では、学習規律を意識して、タブレット等を使って、クラスメイトと協働して学ぶ姿が授業でよく見られました。また、総合的な学習の時間「寄未知タイム」では、主体的に取り組むことで楽しんで学ぶ姿がよく見られました。夏休みに1学期前半の振り返りをしっかり行い、何がわかっていて、何がわかっていないかをはっきりさせ、弱点克服にもトライしてみてください。

生活面では、友達と協力して毎日の清掃や当番活動などができているということが、学校評価アンケート結果からかかえます。玉村優弥生徒会長を中心に各専門委員会での諸活動、今年度初めての学校行事である新入生歓迎球技大会をはじめ、生徒総会やその他の行事への積極的な取組、早朝から練習した、4年ぶりの那覇ハーリーへの出場は、学校全体を明るく元気にしてくれました。

体づくりの面では、体育の授業はもちろん、毎日の部活動の練習で精一杯練習に取り組む姿が印象的でした。それが、那覇地区中体連の活躍にもつながっていると思います。加えて、朝の登校状況や読書活動、普段のあいさつが素晴らしいことも、寄宮中学校の自慢できることだと感じています。

さて、いよいよ明日から夏休みです。普段より時間はあると思いますので、是非、実績づくりの夏にしてください。自分の得意な絵やものづくりでコンクールに応募したり、スポーツ、趣味の分野を深く追求し、自分自身の可能性を試し・広げる絶好の機会にしてほしいと思います。先ほども言いましたが、弱点克服にトライするのもいいと思います。**大切なのは、自分で決めて実行することです。**

最後に、コロナ感染症が5類に変わり、報道も少なくなりましたが感染者は増えているようです。せっかくの夏休みなので、健康で有意義に過ごしてほしいです。日頃から「手洗い、うがい」等をしっかりして、予防を心がけてください。

たくさんの可能性を秘めた「のびしろ」いっぱい寄宮中生徒一人ひとりが、安全に気をつけ、誰一人事故もなく、楽しく、有意義で実り多い夏休みになることを願い、一学期前半終了のあいさつとします。

### 相愛幼稚園からの贈り物

6月6日にご近所の相愛幼稚園の園児たちがきれいなお花を届けてくれました。かわいい幼稚園児の訪問に、ほっこりしました。事務室前や校長室に、しばらく花を飾って、癒やされていました。いつでも、カメさんやウサギさんに会いにきてください。ありがとうございました。



## 小中一貫合同授業研究会

7月3日に小中一貫合同授業研究会を実施しました。寄宮中学校小中一貫グループ校の真和志小学校、上間小学校、与儀小学校の先生方が一緒に研究を深めていくことがねらいです。総勢100名が本校に集まりました。そして、那覇市教委から6名の指導主事を招聘しました。小学校の先生方は子どもたちの成長を見て、とても喜ばれていました。授業後は小学校の先生方と各クラスで授業研究会を行い、研究を深めました。指導主事からは、本校生徒の落ち着いた授業態度や先生方の授業に対して、助言をいただきました。コロナ禍でオンラインでの研修会も増えていますが、このような参集型の授業研究会を持つことで、小中学校の連携が更に強化され、子どもたちによりよい学習環境を作ることができるかと再確認しました。早めの下校になったクラスの保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



## 少年の主張大会

7月6日に「那覇市少年の主張大会」が開催され、本校からは、3年生の山口絢音さんが出場しました。17校の出場の中の1番目の発表でしたが、大きな声で堂々と主張していました。1番目としての重責は十分に果たした素晴らしい発表で、優良賞をいただきました。タイトルは「すべての人が認められる社会へ」です。以下少し紹介します。「・・・(前略) 現在日本では、LGBTQの人は13人に1人。約900万人いると言われてます。私の身近にもLGBTQの人がいます。こんなにも多くの人がいるのに、なぜ、日本では同性婚が認められていないのでしょうか。・・・(中略) 学校で思春期保健相談士の徳永恵子先生による性教育講演会がありました。先生はLGBTQについてもふれ、恋愛感情が向く性別や心の性別は生まれる前から決まっていること。LGBTQは心の病気ではなく、国連人権理事会やオリンピック憲章でも性的指向への差別を禁止していることを教えてくださいました。そして最後に『誰かを好きになることは素晴らしいこと。誰もが自分を否定せず、受け止められる社会を作るために皆さんが正しい知識を広める協力をしてくださると嬉しいです』とおっしゃいました。・・・(中略) 様々な性のあり方があるのが自然なのです。金子みすゞさんも言っています。『みんな違ってみんないい』と。」テストや部活動で忙しい中、知念常美先生と放課後に練習をしたり、同級生や職員の前で予行練習をしたりと、とても素晴らしい取組をしていました。そのたゆまぬ努力に感心しました。



## 地域の力

7月14日に1年生のキャリア学習会に12名、3年生の高等学校説明会に8名、総勢20名の講師の方々が本校生徒のために来校されました。1年生は「職業人に学ぶ」と題して、繁多川公民館の南館長のご紹介で、保健師、図書館司書、一級建築士、印章業・運命鑑定士、農業、老人ホーム経営、福祉、調理師、パティスリー、外資系金融業とバラエティーにとんだ方々がプレゼンをしてくれました。生徒は興味のある職種を選び、5カ所に分かれて話を聞きました。態度もよく、質問も積極的にしていたことで、講師の方々も感心していました。以下、生徒の感想です。「『自分が当事者だからこそわかること』という言葉が一番、頭に残りました。」「人生は一度きりしかないので、自分に合った職業を見つけ、何事にも全力で取り組んで行こうと、この話を聞いて思いました。」「一番聞いて驚いたのは、日本の食糧自給率が37%ということです。農業は生きていくうえでかなり大切だと言っているのを聞いて『確かに！』と思いました。」



3年生もそれぞれ興味のある学校を選択して、南部農林高校、小禄高校、南風原高校、陽明高校、浦添商業高校、浦添工業高校、真和志高校の先生方が、プレゼンをしてくれました。以下、生徒の感想です。「自分の志望校以外の高校のことについてよく知らなかったけど、浦商や南農からでも琉球大学に進学できるとわかり、視野を広げることは大切だなと思った。」「高校の先生方から直接話を聞いて、自分のまったく知らなかった各コース・各学科についてウソなしで細かく教えてもらって、こんな高校だとおもわなかった〜と印象が変わって、もっと行きたい！と思えるような高校にも出会えて良かった。」



他にも、「ネット情報だけではわからないことが多く、聞いてよかった」との感想が数多くありました。生徒にとって学びの多い説明会となりました。